

# R7 浜之郷小学校グランドデザイン

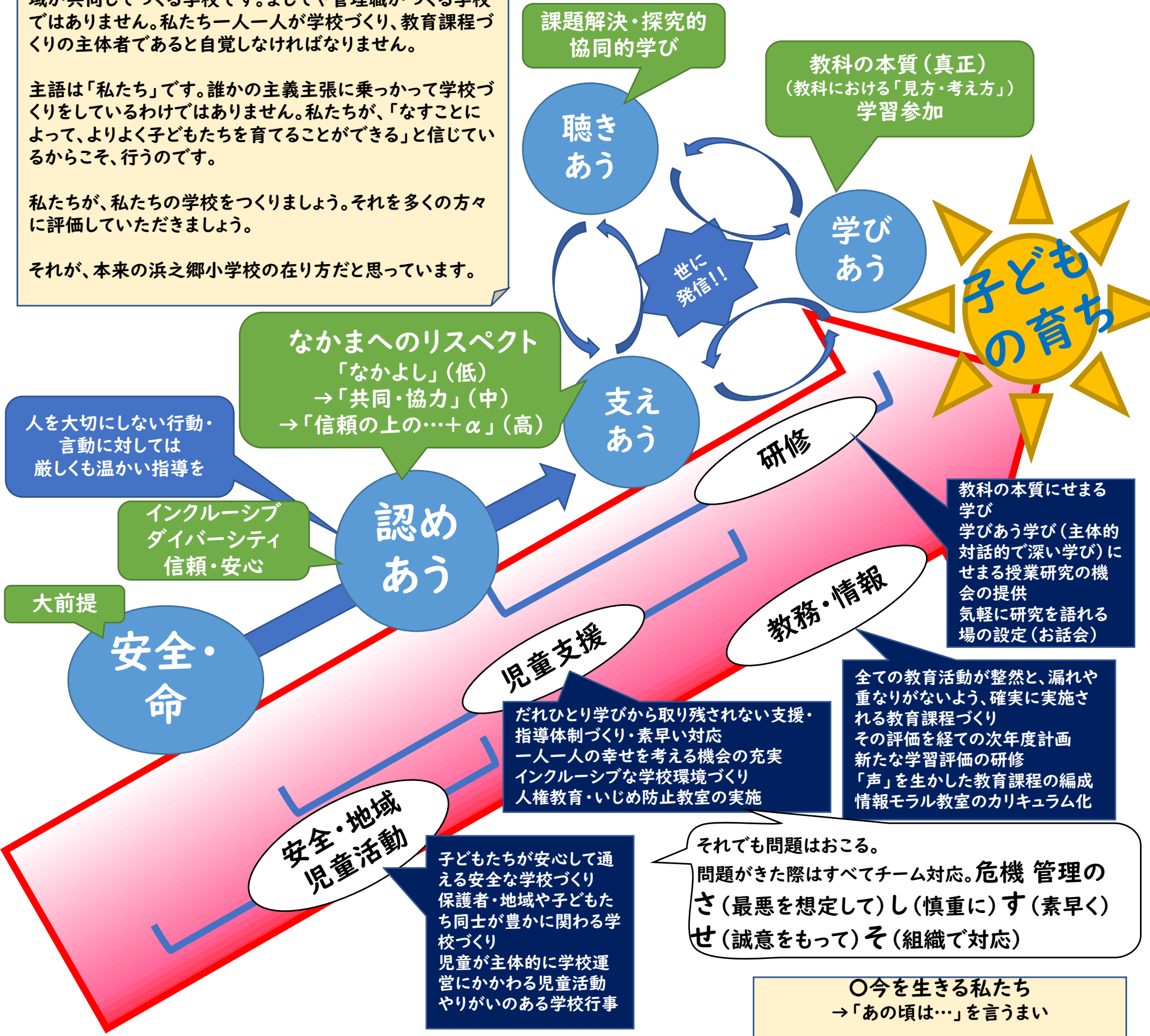
2025/04/01  
校長 安倍

浜之郷小学校は、今ここにいる子どもと教職員、保護者・地域が共同してつくる学校です。ましてや管理職がつくる学校ではありません。私たち一人一人が学校づくり、教育課程づくりの主体者であると自覚しなければなりません。

主語は「私たち」です。誰かの主義主張に乗っかって学校づくりをしているわけではありません。私たちが、「なすことによって、よりよく子どもたちを育てることができる」と信じているからこそ、行うのです。

私たちが、私たちの学校をつくりましょう。それを多くの方々に評価していただきましょう。

それが、本来の浜之郷小学校の在り方だと思っています。



教科の本質にせまる学び  
学びあう学び(主体的対話的で深い学び)にせまる授業研究の機会の提供  
気軽に研究を語れる場の設定(お話し会)

全ての教育活動が整然と、漏れや重ならないよう、確実に実施される教育課程づくり  
その評価を経ての次年度計画  
新たな学習評価の研修  
「声」を生かした教育課程の編成  
情報モラル教室のカリキュラム化

それでも問題は起こる。  
問題がきた際はすべてチーム対応。危機管理のさ(最悪を想定して)し(慎重に)す(素早く)せ(誠意をもって)そ(組織で対応)

子どもたちが安心して通える安全な学校づくり  
保護者・地域や子どもたちが豊かに関わる学校づくり  
児童が主体的に学校運営にかかわる児童活動  
やりがいのある学校行事

子どもには... (授業・学級へ)	分掌では... (学校へ)

- 今を生きる私たち  
→「あの頃は…」を言うまい
- 私たちの浜之郷  
→「学びの共同体では」ではなく「私たちは」が主語でありたい
- 弱さを認め合う  
→大人も「ねえ、ここどうするの？」を合言葉に
- 協同的探究的・ジャンプ  
→大人も「頭を寄せ集めて」届きそうで届かない課題にチャレンジ!
- ORPDCAサイクル  
→ResearchからPDCAへ  
子どもの実態から□□しよう  
…そして評価・計画へ

お名前 ( )

コピーを1部4/4までにご提出ください